

平成30年度第1回教育改革 ICT 戦略大会運営委員会議事録

- I. 日時 平成30年5月26日(土) 14:00~16:00
場所 私情協事務局会議室
- II. 出席者 向殿委員長、尾崎委員、望月委員、稲葉委員、川村委員、阿部委員、友永委員、森本委員、寺田委員、木村アドバイザー
事務局：井端事務局長、野本

III. 検討事項

1. 3日目の発表会について

参加申し込みが少ないことから、締め切りを6月1日から11日に延長することにした。

2. 1日目のプログラムについて

プログラムの構成について、資料①.1に沿って検討した結果、概ね次の通りとした。

- ① 「高等教育政策の動向」を理解するため、文部科学省将来構想部会で検討を進めている2030年以降の社会全体の構造の変化を踏まえた人材育成と教育研究体制について認識を共有することにした。
- ② その上で「第4次産業革命時代の人材育成」について理解を深めるため、企業・社会から求められるデータサイエンスなどの人材像と産学連携による教育イノベーションの提案を受けて、データを活用した教育の必要性を再認識する。以上の2件を午前中に行う。
- ③ 午後は3件とした。最初は、第4次産業革命時代の人材育成として実際に取り組んでいる「データサイエンスの人材育成」について最新の教育事例を紹介するため、データを横軸にして固有の専門領域とクロスした文理融合による産学連携によるデータサイエンス教育を実施している滋賀国立大学の取り組みを紹介することにした。
- ④ 「第3期教育振興基本計画について(答申)」で高等教育段階の目標として掲げられている問題発見・解決能力の修得にICT活用が極めて重要であることの認識を共有できるようにするため、「問題発見・解決力等を促進するICT活用授業」として、本協会の委員会で検討をすすめている分野横断型PBL授業の取り組みについて紹介し、社会課題など答えが定まらないテーマを題材にネット上で議論し、知識の組み合わせ・創造を訓練する取り組みの重要性について理解の共有を目指すことにした。
- ⑤ ネット上で分野を越えて意見交流するには、第三者の著作物利用が不可欠となることから、「教育の情報化推進に関する著作権」として適切に著作権処理ができるよう「ICT活用と著作権の基礎知識」について、最近の著作権改正動向も踏まえて講演することにした。

3. 2日目のプログラムについて

初日の全体会では教育政策を中心としたプログラムとしたが、二日目はICT活用を普及推進することを目指して、「-googleクラスルーム、Moodle等フリーソフトによるeラーニングの取り組みと課題」、「反転授業の導入と展開」、「携帯端末・モバイル・SNSを活用した双方向型授業の導入と展開」としたICTツールを導入した取り組み事例を中心に、大学教育におけるICT活用の割合が拡大することを目指すことにした。また、事例を提供する大学については、今後大学に打診し、確認しながら選定することにした。

IV. 今後のスケジュール

次回は、6月15日に委員会を開催し、開催要項を確定することにした。